



ひがしとよなか だより

令和6年(2024年)度12月号

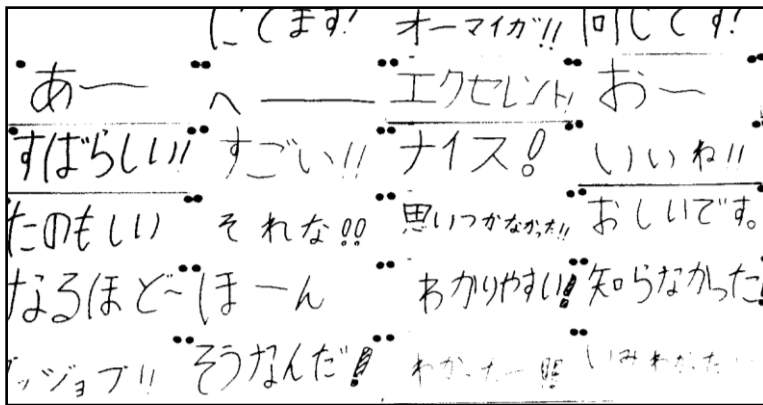
豊中市立 東豊中小学校

学校目標 豊かな心を持ち、よく考え、自分の力で生きぬく子ども

校長 河上洋介

校内研究授業について

本校では、主体的に学習に取り組む態度を育てる授業づくりを目指して、校内研究授業を行っています。まず、9月20日(金)6時間目に4年3組にて実施しました。内容は、国語の物語教材「一つの花」を読んで、登場人物の気持ちを考えるものでした。考える根拠を文章中から見つけ、伝えあう活動を通して、読みを深めていくことをねらった授業でした。授業では「ポジティブフィードバック」の言葉を子どもたちが意識して使



ていました。教室の壁に掲示されていたので紹介します。授業後の事後検討会では、先生たちから「子どもたちの聞く姿勢や反応がよかった。」「ノートにたくさん意見を書いていた。」といった感想が出

されていました。次に、9月25日(水)5時間目に2年3組で実施しました。内容は、国語の物語教材「ニャーゴ」を読んで、別々の場面で出てくる「ニャーゴ」と言ったときの猫の気持ちを比べながら考えるものでした。授業では、3回出てくる「ニャーゴ」を視覚化し比べやすくするために、4段階のメーターで猫の気持ちを表していました。授業後の事後検討会では、



「物語をざっくりと捉えることができていた。」「子どもたちの音読の姿勢がよかった。」といった感想が出されていました。

第2回運営協議会の報告について

10月9日(水)の18:30~19:40に多目的室にて第2回運営協議会を開催しました。

事務局として校長と教頭、委員8名の出席がありました。まず、4月に5、6年生が取り組んだ全国学力・学習状況調査等の結果報告をしました。委員からは、タブレット等の普及で便利になった反面、すぐに結果、答を求めてしまう傾向があり、テストでも問題をちゃんと読んで何を問われているのかを理解しないまま、正しそうなものを選んで答える傾向があるように思う、といった感想が出されていました。次に、地域、保護者、学校の協働による取り組みにかかる熟議を行いました。熟議では、40年前にPTA会長をしていた委員の方から、当時は保護者の間にPTA活動をやらなければいけないものと捉えて心理的負担感があったが、PTAを楽しもう、自分たち大人も楽しみながらやろうとした経験を紹介いただきました。次回は2月に実施予定です。

AIドリルについて

9月2日(月)から、子どもたちのタブレットでドリルパークというドリルが使えるようになっていきます。子どもたちが自ら学ぶ習慣を身に付け、学校の授業以外でも自分で学習する時間を増やすことが導入のねらいです。ドリルパークには、ベーシックドリル、パワーアップドリル、漢字ドリル、算数学び直しドリルの4つのドリルがあり、このうち、ベーシックドリルがAIドリルになっています。AIドリルでは、間違った場合に、フォロー問題や類題が出題されます。また、例えば、5年生の体積のドリルを始めたときに、体積がまだ苦手な子には面積の問題から出題されるといったように、使っている子どもの学習熟度に合わせて問題が出題されます。この機能が働くためには、ある程度AIドリルを使い込むことが必要です。

<連絡やお願い>

・小学校スクールカウンセラー福嶋さんの次回派遣日は12月2日(月)です。面談希望がありましたら担任あてお申し出ください。